

政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

令和 4 年 11 月 10 日

犬 山 市 議 会
副 議 長 久 世 尚 裕 様

議員名 三 浦 知 里

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	令和 4 年 10 月 12 日 (水) ~ 令和 4 年 10 月 14 日 (金) 会議は 10/13-14 遠方のため前泊 (2泊3日)
(2) 視 察 地	第84回 全日本都市問題会議 会場：出島メッセ長崎
(3) 視察の種類	常任・特別 委員会 (委員会) : 会派 (公明クラブ)
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	<第2日> パネルディスカッション コーディネーター：大杉寛氏 パネリスト：野口智子、田中敦 桐野耕一、森繁 淳也(飛騨市長) 藤原保幸(伊丹市長) この日のキーワードは「関係人口」①名前が覚えられ規模 ②準備が 片づけ、打ち上げまーるに ③住民の思いや背景を伝える(ストーリー性) ・人材育成が大事。関係人口もわかりやすく分けると「助っ人外口」 自分たちのチームの課題と戦力とるまじ、どんな助っ人外口人が必要か イメージを上げて募る。「選ばれる」まちづくりのための第一歩。
(5) 犬山市に 対する提言	・100年に一度といわれる「まちづくり」が進む長崎。2018に新県庁舎、 2020年に大津町の新駅舎、2021年には長崎初のMICE施設となる 出島メッセ長崎、2022年9月1には西九州新幹線が開通。 地元の活気が伝わる所々感じて感心している。 ・2006年の日本初となるまち歩き博覧会「長崎はく博'06」が見事に 成功しています。体験型のまち歩き。おの良さを伝えるのはそこに 住む住民。他から訪れた人との出会い、伝えることができたか？ 何度も訪れたいと思わせるような仕組みを。犬山市は この機会をうまく大事にしたい。



政 務 活 動 費 成 果 報 告 書

令和 4 年 11 月 10 日

犬 山 市 議 会
副 議 長 久 世 高 裕 様

議員 名 三 神 知 里

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	令和 4 年 10 月 12 日(水) ~ 令和 4 年 10 月 14 日(金) 会議は 10/13、14 両方の泊前泊 (泊 日)
(2) 視 察 地	第84回全国都市問題会議 会場：松島メッセ長崎
(3) 視察の種類	常任・特別 委員会 (委員会) : 会派 (公明クラブ)
(4) 視 察 成 果 (視察地ごとに記入)	テーマ 個性を活かし「盛られる」まちづくり ~ 何處も訪ねたい場所に訪ねるために、 (※旧X19%) 基調講演 高田知人 (株式会社シバネットホールディングス代表取締役社長兼 CEO) ... 30年前、長崎の小さなカフェ店としてスタート。父の商店街を シバネットが受け継ぎ新しいコンセプトの形をみだした。父から受け継いだ「見つけろ」 「磨く」「伝える」という方針。現在では長崎駅前にはスタジオ、アリーナ商業 施設、ホテル等が構成されまちづくり「長崎スタジオシティプロジェクト」を進め、 2024年の開業をめざす。行政の役割は公平性、民間の役割は「積極的拡大」 ・主報告 田上高久 (長崎市長) 2015年に世界遺産に登録された長崎県 2024年に開業する長崎市観光博物館。それ以前から取り組んでいる「長崎 をよく」をさらにふりふり歩くという方言。特別な何かを作りたいのではなく 暮らす人にとりて身近にありながら気づいていない価値に気づく。
(5) 犬山市に 対する提言	・初日は上記の基調講演。主報告の他に3人の方から一般報告があった。 長崎市は以前に「長崎をよく」が始まった頃に一度視察に出かけていたが その時より更に進化した魅力ある町に変わっていた。その際には2人の立役者の存在 が大きい。1人は、シバネットの高田知人社長、もう1人は、長崎市景観専門 監の高尾忠志氏。田上市長は「100年に1度のまちづくり」の構想の中で少し 工夫して何かをプラスすることで価値が10くらいに上がり、旧町のプロジェクトの集積が まち全体の価値を100倍のプラスになると。彼等の中に入らなければ仕事をする 景観専門監の高尾氏。犬山にも一度来ていただきお話を聞きたい。 町の魅力を再発見していただきたい。